

2022年度3月

# しいの実・たんぽぽ・みずぐみ

おプレゼント制作

卒園するたよりやみのお友だちに、小学校に行くのも使ってもらえるように、巾着袋のプレゼントを作りました。子どもたちには布に、マジックで絵を描いてもらいました。こ最近、描画もある本機会があったので、描画に対して、意欲的な子どもたちで、よく描くようになり、身体的にも情緒面にも成長を感じました。

たよりやみのお友だちには、完成した巾着袋を一人ずつ、「ごう」と手渡してプレゼントしました。たよりやみの子どもたちからは、「ありがとう」「けいこむいれつから」と声もかかれました。また、たよりやみのお友だちからしいの実やみの子もたよりには、手作りの太鼓ももらいました。とても興味津々で、太鼓とバチの取り合いをしながら、太鼓をたたいて楽しんで遊んでいました。

大きくなつたね

在園児2名と、新入園児 名で始まった4月。慣れぬ環境で、泣き声が響き渡っていた保育室でした。

5月、保育園に少しずつ慣れてきて、笑顔を見るようになりました。この時期は、また、おんな。移動は四つ這いや歩きでした。

6月、新しいお友だちが入園しました。歩けるようになり、斜面を登れるようになったり、ひとりで活発に動けるようになってきました。

7月、新しいお友だちが入園しました。本格的な水あそびが始まりました。冷たい水の感触にびっくりする子どもたちでした。

8月、水の感触にも慣れてきて、タイヤトロ舟に入、て全身で水あそびを楽しみました。感触あそびも楽しみました。

9月、3人の新しいお友だちが入園し、一気に保育室は賑やかになりました。

10月、いよいよ散歩に行き、広い所で身体を動かしてあそびました。

11月、収穫感謝祭で、色んな野菜やお米に触れました。触れることの少ない野菜に興味深々で、重たい野菜を持ち歩いていました。

12月、イエス様のお誕生をお祝いしました。絵の具のクソも使って、クリスマス制作もしました。この頃から、制作の楽しさを知り、意欲的になりました。

1月、雪あそびをしました。得体の知らない雪に、緊張して、ほとんどの子どもが手を引く、触れようともしませんでした。降、てくる雪を指さし、はらへる姿もありました。

2月、豆まきで、小さい鬼と大きい鬼に出会いました。制作展では、おうちの人に、絵と制作物を見てもらいました。持つことさえ難しかったクレパス、マジック、筆(絵の具)が持つようになり、身体の色んな所を動かせるようになり、精神的な部分でも成長したことを感じるようになりました。

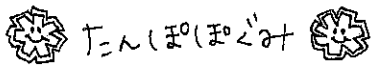
3月、おんな歩けるようになり、活発に動き回っています。 裏へ続く。

# クラスだより

3.28(水)

3月に入り、暖かな日が続くなど、過ごしやすさが増えました。

散歩に行く姿も少しずつ薄着になり、街にも花が咲き、草木が育ち、色々な香りかする中、元気に遊んでいます。制限が少しずつ緩和されてきている一方で、まだまだ子どもたちにとっては窮屈な中ではありますが、元気にのびのびと大きくなりました。一年間、ご理解とご協力いただき、ありがとうございました。



たんぽぽ組

たいよう組さんへプレゼント作りました。

卒園するたいよう組のお友だちへプレゼントを作りました。トイレットペーパーの芯に マーブルを しました。好きな色を2つ選んで、水の上に マーブルを 振りまき、指でくくるように混ぜて マーブル模様を作りました。初めての マーブルで、興味津々、「どんなだろう?」と不思議な様子な子どもも!しかし、とても楽しんでいました。



そして、残りの2つの トイレットペーパーの芯には、折り紙を、ペラペラと貝つりして、上からシールを貼りました。集中するかも、ついてきて、手先も柔軟にペラペラとシールを貼っていた子どもたちでした。かわいく出来上がった、えんぴつ立ては、お別れ会で、無事に手渡すことが出来ました。お互い、ちよびり、おぼかし、そうにしていましたが、渡した後は、大満足そうにしていた子どもたちでした。

1つ大きくなる子どもたち

あつという間に、3月になり、子どもたちは、もうすぐと進級です。初めての保育室に、初めての先生...最初は、ドキドキした表情を見せていた子どもたち。しかし、同じ空間で、過、遊んで、少、関係が出来て、今は、安心し、過、しています。

そして、友だちとの関係も、1年を通し、すく成長しました。一人で遊ぶことが、楽しかった時期から、同じ遊びを、楽しみ、気持ちを共有することを、喜ぶ姿に、変わってきました。言葉が増えたこと、身体の使い方が、グイグイになったこと、目に見える成長は、もちろん、子ども同士や、大人との関わりで、気持ちを、やりとり、楽しめ、か、こ、出来たように、たよ、と、自信につなげたことなど、バの成長も、たくさんありました。

来年度は、みず組です。"1つ大きくなった"と期待を持って、進級出来るように、実際に、みず組の保育室で、過、話をして、しています。4月から、みず組が、スタートすると、どんな姿を見せてくれるのか、また、楽しみ、か、1歳児は、自我が出て、手のかかる時期ですが、それ以上に、おもしろい姿、か、いい姿など、たくさん見せています。そんな時期に、一緒に、過、成長を、感じて、くれたことを、嬉しく、思います。一年間、ありがとう、ございました!!



# みずぐみ

たいようぐみさんへプレゼント

たくさん遊んでもらったたいようぐみさんへ"しおり"を作りました。ピンク・黄色・オレンジ・みどり・水色・青の6色から好きな色3色を選び、和紙を染めてちぎったものを画用紙に貼りました。和紙を絵の具につけると、じわ〜と和紙が染まり、わあー!!と、びっくりしたような表情になる子どもたちです。3色が、混じり合い、広げてみると、とても、嬉しそうに、笑顔を、ました。

乾いた和紙をちぎると、画用紙とは、違い、繊維に、沿って、細長く、やぶれるので、「おー!!みぞー!!」と、声をあげ、子どもたち。小さくちぎることも上手になり、のりつけ、も上手になりました。ほんわかした、色合いの、とても、かわい、いしおりに、(お上、今年度の、みずぐみ、みらい、プレゼント、になりました。



春から1年を通し、子どもたちと、過、してきて、本当に、大きくなったと、実感、しています。たんぽぽ組、みず組、から、進級、してきた、日、はまだ、とても、幼く、どこか、赤ちゃん、感、が、残、っていたように、記憶、しています。ですが、今は、自分の、気持ちを、しっかりと、言葉、で、伝え、よう、とした、り、保育者、ではなく、お友だち、を、誘、って、遊び、を展開、していた、りと、幼児、に、向、か、っている、姿、が、沢、山、増、えて、きました。

お友だちと、遊ぶ、のが、楽しい!! と、思、って、くれたら、いい、な、と、この、1年、思、っていた、ので、子ども、たちの、一、糸、緒、に、遊び、込、んでいる、姿、を見ると、嬉しく、なります。か、ぜ、み、で、も、お友だち、と、遊ぶ、のが、楽しい!! 大好き!! な、クラス、で、あ、って、います。

1年間、とても、楽し、か、た、です。 ありがとう、ございました!!



保育室かとても狭く感じるようになりました。たくさんお話もできるようになりました。

保育室かとても狭く感じるようになりました。たくさんお話もできるようになりました。  
一年も振り返り、ひとり一人月齢が違えば、発達のスピードも違いますが、色々な感情を表現できるようになり、自己主張もできるようになり、心も身体もこの一年で大きくなったなと感じます。  
ひとり一人かとても個性的で、たくさん笑顔があり、感動もありました。4月からは、保育室も変わり、環境が変化して、緊張や不安を感じる子どももおり、保護者の方も心配されるかもしれませんが、親御さんの不安な気持ちも、子どもにも伝わります。子どもは責任ある力があるのびやかな気持ちで、子どもたちを見守ってもらえたらと思います。  
一年間、ありがとうございました。